

吹き荒ぶ平地方

商街。花街。炭礦。魚村

新春より何處へ來た

不景氣風と緊縮風

くる中に越年した石城地方

の

今は依然として不

景氣として不景氣風が吹き

漂つて新春とは言へ何等日

はいな

例年歳末から新春にかけて不

景氣を販はす大賀り

出しても沙汰止みになる程の

寂しさだから止むを得ない

として、平町商店街昨年の

不況振りは全く絶頂に達し

てゐる花柳界方面は流石に

年一回の晝入時たふあつて

萬能中の不景氣とは打つて

變り晴衣に装ひ凝らした姉

姫の駆歩姿を珍らしく杜

絶えない、松の内七日間が

玉高も昨年よりは幾分増加

しがねるが

御祝儀玉は平年の約

半分と言ふから不景氣で

事は先づ疑ひない鎌田游

廊、南町の麿街等も御

ある説、新春氣分も次第

に薄らげ行くのに連れて

漏れず不景氣を喘いで

なるものゝ此處には二角

後に追つてゐる正月控

しめの年よりは居ない

元旦は雑煮からはじまる

餅はかなう古くからつま

りは「みどりに松の木

のみ今は「ほなん」とお

りの能日本靈異記や文德

餅の傳說種々

面白い薬効や

おかちんの語原

お正月に付物の

季節です。

餅はかなう古くからつま

りは「みどりに松の木

のみ今は「ほなん」とお

ります。

餅はかなう古くからつま

りは「みどりに松の木

のみ今は「ほなん」とお

ります。

日々業務にいそしんでゐる
顧客にせんべいを貰ひ、十数名がそれぐ熱
誠を振るつたが来る十五日
再び第二回の辯論研究會を開催する由

忠魂碑除幕

來賓多數で

近來の盛會

上遠野村

忠魂碑除幕

神谷農會王催

依米口評會

戸締に付いて

代議員選舉

十三日から

辯論研究會

政治季節で

大飛躍

石城郡に於ける唯一の青年

不動産の盜難

田甫の窃盜告訴に

苦笑する平署員

不動産の盜難

額面五百圓

實は不渡の

激動ないか

地方法價は保合

金解禁直前の

白米を除いては

鶴岡監督

千葉判事

江名と渡邊の

結局一割減納

馬目氏の

値下断行

馬目氏の

新築落成

内外科一般

大和田醫院

淋しい最後

木賃宿で

入院隨意

市原醫院

昔あるところに貧乏人が開けてみた。
たゞほど見てゐるのだと思つたが、彼はビックリしたそして立派なものが中に入つてゐるが、立派な鏡が一つあつた、食事のみはいはれない、盗人の、食に飢えたもの悉く同じだ。
夫だと彼はそこで一休みし、夫人はその鏡を一番先に逃げをして立派な鏡が一つあつた、食事のみはいはれない、盗人の、食に飢えたもの悉く同じだ。
夫だと彼はそこで一休みし、夫人はその鏡を一番先に逃げをして立派な鏡が一つあつた、食事のみはいはれない、盗人の、食に飢えたもの悉く同じだ。
夫だと彼はそこで一休みし、夫人はその鏡を一番先に逃げをして立派な鏡が一つあつた、食事のみはいはれない、盗人の、食に飢えたもの悉く同じだ。
夫だと彼はそこで一休みし、夫人はその鏡を一番先に逃げをして立派な鏡が一つあつた、食事のみはいはれない、盗人の、食に飢えたもの悉く同じだ。

これは一片の比喩に過ぎない、しかしながら盗み立派な鏡が一つあつた、彼はその鏡をさうして鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、去る途中で明皎たるお月だ、たゞ立派な鏡を嚴重にしまつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、すると一番上の方に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

自分に立派な鏡を取らなければならなかつた、見ただ、

日々業務にいそしんでゐる顧客にせんべいを貰ひ、十数名がそれぐ熱誠を振るつたが来る十五日再び第二回の辯論研究會を開催する由

上遠野村

忠魂碑除幕

神谷農會王催

戸締に付いて

左武郎生

十三日から

名簿閲覧

濱三木炭

代議員選舉

十三日から

辯論研究會

政治季節で

大飛躍

石城郡に於ける唯一の青年

不動産の盜難

田甫の窃盜告訴に

苦笑する平署員

不動産の盜難

額面五百圓

實は不渡の

激動ないか

地方法價は保合

金解禁直前の

白米を除いては

鶴岡監督

千葉判事

江名と渡邊の

結局一割減納

馬目氏の

値下断行

馬目氏の

新築落成

内外科一般

大和田醫院

淋しい最後

木賃宿で

入院隨意

市原醫院

内科、小兒科

外科一般

内科、小兒科

外科

梅毒、淋疾

皮膚病

市原三三男

陸上競技

陸上競技